

団体名		公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団			
①	指 標 名	お客様満足度の向上		目 標 値	体育施設事業の参加者の平均満足度及びプレイスモニタリング総合満足度ともに87%以上
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: %)	体育施設事業90.8% プレイス満足度86.8%	体育施設事業93.0% プレイス満足度92.9%	体育施設事業92.4% プレイス満足度93.4%	どちらの施設も高い満足度を得ているが、今後もこの水準を維持していく努力を続けることが重要である。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 年間180を超えるスポーツプログラムの参加者約5,000人からアンケートを回収している。参加者の意見を直接聞くことで、重要な事業の企画・見直しの情報源となっている。 またプレイスは個別の事業の満足度だけでなく、利用者が気軽に来館することができる「場」としての使いやすさや接客を含めた快適性を反映するモニタリングの総合満足度を指標としている。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 体育施設ではスポーツ教室・イベントすべてにおいてアンケートを実施している。「満足度」だけではなく「初参加者の割合」「出席率」「応募倍率」「身体・生活に良好な変化があった人の割合」「交流の広がりがあった人の割合」「活動の継続を希望する人の割合」「参加者の負担率」「非営利組織による同様事業の実施状況」「営利団体による同様事業の実施状況」「情報取得源」など多岐にわたる観点から事業評価を行い得点化して事業の見直しを常に実施している。プレイスでも同様の分析を行い高い評価を得ているが、事業参加者以外の来館者の声を重視してモニタリングの総合満足度を目標値としている。				
②	指 標 名	自主財源の確保		目 標 値	参加料収入等44,000千円
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 千円)	43,076千円 (34,526千円)	44,534千円 (34,005千円)	45,836千円 (34,924千円)	大幅な増加は見込めないものの、毎年安定した収入の確保が重要である。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全性の確保
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 事業団の経営安定化と諸課題対応や利用者の利便性向上のため、自主財源の確保を図る。 数値は事業参加料+基本財産運用収入+業務委託収益(収益事業)の合計である。(カッコ内は事業参加料のみの数値)			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・事業参加料については、参加者の増加と適正な料金の設定に努める。 ・基本財産の運用は、安全で確実かつ有利な方法で行う。 ・新たな収益事業を検討する。				
③	指 標 名	コンプライアンスの強化		目 標 値	ハラスメント規程の整備
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:)	①中期計画の策定 ②嘱託職員の規程整備	①諸制度・諸規定の整備 ②全職員を対象とした研修の実施	①人材育成計画の策定 ②職員行動指針の策定	規程整備とともに計画的な方針を策定し、課題や目標を明確化することで、コンプライアンスの強化につなげている。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標達成に向けた効率的運営の推進
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 平成27年度から5年間の「中期計画」に記載されている「ハラスメント」対応のための規程を整備する。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 現在の「セクシャルハラスメントの防止に関する基準」を大幅に見直して、パワハラなども含めた新たな基準を策定する。				